

第35回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ実施における 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

本ガイドラインは、「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本スポーツ協会）に基づき、一般社団法人日本ウォーキング協会が定める「新型コロナウイルス感染症予防対策」等を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑え、「第35回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ」を安全・安心に開催することを目的に作成。

なお、本ガイドラインは、新型コロナウイルスの感染拡大等の状況に応じて、随時、必要な改訂を行っていく。

令和3年10月15日

令和3年12月27日（改訂）

1 共通予防対策

- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加（参加者・係員・関係者）を見合わせる。
 - ① 体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者と濃厚接触がある場合

（65歳以上の方や基礎疾患のある方などは、新型コロナウイルス感染症により重症化するリスクが高いことを認識した上で、自己責任において参加とする。）
- ・手指衛生の励行（消毒液やハンドソープの設置）。
- ・主会場や出発直後、チェックポイント等でのマスク着用。
- ・共用備品等の消毒（除菌シートの準備）。
- ・ソーシャルディスタンスの確保（3密の回避）。
- ・大声での会話や応援をしない。
- ・参加者、スタッフ、関係者のゾーニング確保。
- ・厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」や岡山県の「もしサポ岡山」の使用を推奨。

2 実施内容

(1) 参加人数の制限

- ・参加者の上限を5,000人とする。

(2) コース

- ・両日とも5km, 10km, 20kmコースのみ実施。

※1日目：酒津公園コース（10km），連島・水島コース（20km）

2日目：源平史跡コース（10km），新熊野史跡コース（20km）

2日間共通：美観地区コース（5km）

(3) 会場への入場・受付

- ・会場内への入場時，全参加者が検温と手指消毒を実施する。

※37.5度以上の参加者は入場をお断りする。

- ・十分な受付窓口数の確保。
- ・入場前や受付前，密にならないよう列の整理を行う。

(4) 更衣室

- ・更衣室は定期的な換気や消毒作業を行う。
- ・同時に利用する利用者が一定数を越えた場合，入室を制限する。

(5) スタート

- ・30分間隔でスタート時間を指定する。
- ・出発式は行わない。
- ・受付を済ませた後，速やかにスタート地点へ移動し，指定スタート時間内の参加者は順次スタートする。指定スタート時間前の参加者は待機エリアで待機し，指定時間到来後，順次スタートする。
- ・参加者同士の間隔を2m以上空ける（同一グループを除く）。
- ・スタート直後の信号待ちで密集しないよう誘導する。
- ・スタート時に，放送機器等を使用し，歩行時の注意事項や感染症対策についてのアナウンスを行う。

(6) チェックポイント

- ・チェックスタンプ押印時に密集しないよう誘導する。
- ・休憩時に密にならないよう注意喚起を行う。

(7) ゴール時、主会場出展ブース・アトラクション

- ・チェックスタンプ押印時に密集しないよう誘導する。
- ・飲食物を提供する出展ブースは設けない。
- ・ステージショー等のアトラクションや各種表彰等は実施しない。
- ・ゴール後は速やかに解散するよう促す。

(8) ゴミ処理

- ・主会場内やチェックポイントにゴミ箱等は設置せず、ゴミは各自持ち帰ることを原則とする。

3 体調不良者発生時の対応

(1) 受付での体調不良者発生時の対応

- ・入場時に発熱（37.5℃以上）がある、又は体調管理チェックシートの項目に該当箇所がある者については帰宅を要請し、かかりつけ医や最寄りの医療機関を受診するよう促す。

(2) ウォーキング中に体調不良となった参加者の対応

- ・救護車により主会場、もしくは最寄り駅まで搬送し、かかりつけ医や最寄りの医療機関を受診するよう促す。
※救護車内の感染防止対策を実施。

4 参加者や係員の感染が発覚した場合

イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに連絡し、濃厚接触者の有無等について報告する。